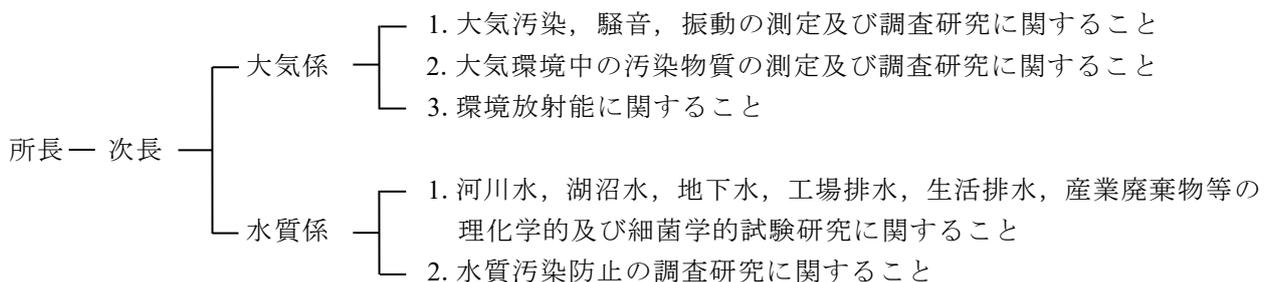


1. 沿革

昭和23年 6月25日	奈良県告示第167号を以て、奈良市登大路町奈良県庁内に奈良県衛生研究所を設置
昭和28年 3月31日	奈良県条例第11号を以て、奈良市油阪町に庁舎を新築移転
昭和41年 3月30日	奈良市西木辻八軒町に奈良保健所との合同庁舎を新築移転
昭和46年 3月24日	奈良市大森町に独立庁舎を新築移転
昭和46年 5月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、環境公害課、予防衛生課の3課を設置
昭和48年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、食品化学課を新設
昭和50年 2月28日	前庁舎に接して約 1,276 m ² の庁舎を新築
昭和62年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、公害課、環境課、食品化学課、予防衛生課の5課制に編成替え
平成 2年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、大気課、水質課、食品生活課、予防衛生課に編成替え
平成12年 4月 1日	県感染症情報センターを所内に設置
平成14年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、奈良県保健環境研究センターと名称変更し総務課と試験研究グループ(大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当)に編成替え
平成18年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、精度管理担当、大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当に編成替え
平成22年 4月 1日	技術担当を置く
平成23年 4月 1日	技術担当を解く
平成25年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、大気環境担当及び水環境担当は奈良県景観・環境総合センターの試験研究部門として大気係、水質係に編成替え。奈良県保健環境研究センターは奈良県保健研究センターと名称変更し、総務課、精度管理担当、食品担当、細菌担当、ウイルス・疫学情報担当に編成替え。試験研究施設は桜井市粟殿に新築移転。

2. 組織(試験研究部門のみ)

(1) 機構と事務分掌(令和3年4月1日現在)



(2) 職員構成

(令和3年4月1日現在)

区分	事務職員	技術職員				計
		薬学	獣医学	理工農学	臨床検査学	
所長	1					1
次長				1		1
大気係				7		7
水質係			1	5		6
計	1		1	13		15

(3) 職員名簿

(令和3年4月1日現在)

係名	職名	氏名	係名	職名	氏名
	所長	小森俊二			
	次長	佐羽俊也			
大気係	統括主任研究員 副主幹 主任研究員 主任研究員 主任研究員 主任主事 主任主事	伊吹幸代 杉本恭利 北岡洋平 山本真緒 高林愛希 吉田実希 志村優介	水質係	統括主任研究員 指導研究員 主任研究員 主任研究員 主任研究員 主事	城山二郎 浦西克維 平井佐紀子 辻本真弓 浦西洋輔 平山可奈子

3. 施 設（試験研究施設のみ）

(1) 土 地

（令和3年4月1日現在）

地 名	地 目	面 積	現在の状況	所 有 者
桜井市粟殿 1000 番地	宅 地	8,741.86m ²	宅 地	奈 良 県

(2) 建 物

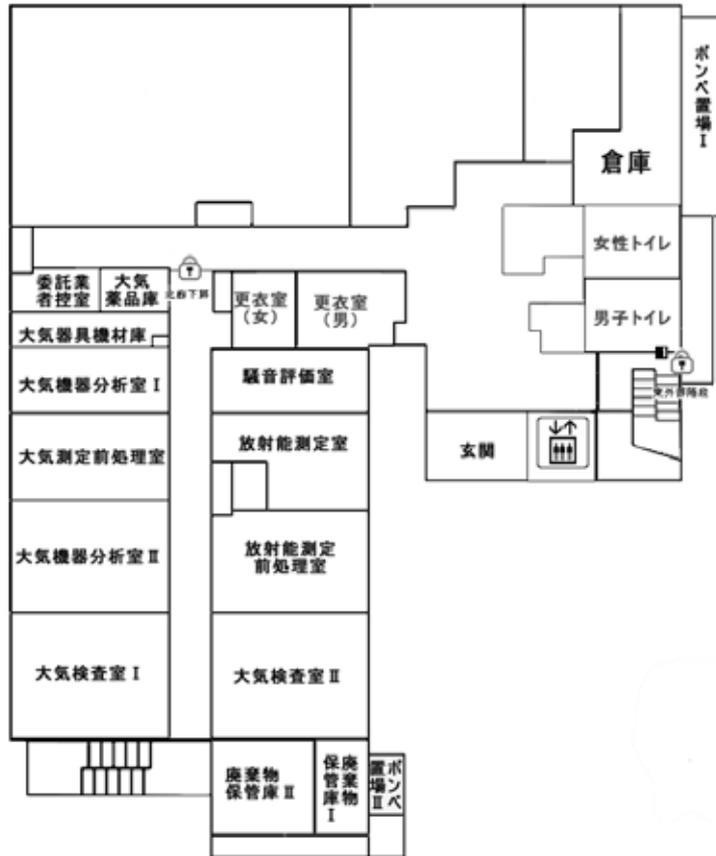
（令和3年4月1日現在）

施 設	面 積	使用開始年月日	建物経過年数	所 有 者
本館鉄筋コンクリート 4 階	3,264.17m ²	平成 25 年 4 月 1 日	8 年	奈 良 県
（ 本 館 1 階 ）	(860.13)			
（ 本 館 2 階 ）	(786.77)			
（ 本 館 3 階 ）	(786.77)			
（ 本 館 4 階 ）	(786.77)			
（ 本 館 P1 階 ）	(43.73)			
倉庫	7.00	平成 25 年 4 月 1 日	8 年	

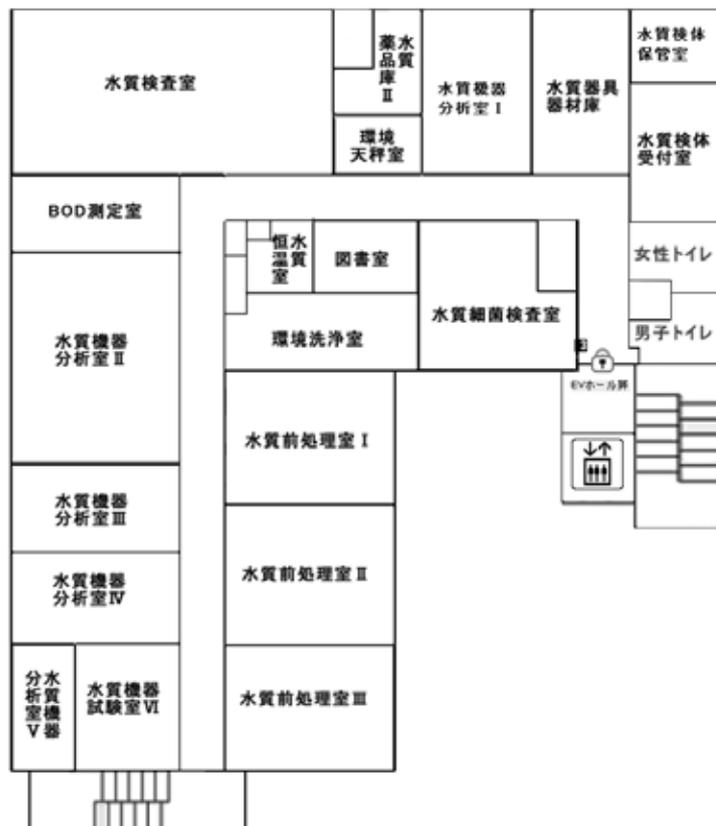
※大気係は1階西棟，水質係は2階全棟にて試験研究を実施.

(3) 奈良県景観・環境総合センター試験研究施設 配置図

(1階)



(2階)



4. 新規購入備品（単価 20 万円以上）

品 名	規 格	購入年月日
電子補足型検出器付ガスクロマトグラフ	島津製作所(株)製 GC-2030	R3.1.29
精密騒音計	リオン(株)製 NL-62A	R3.3.11
ハイポリウムエアサンプラ	紀本電子工業(株)製 120SL	R3.3.24

5. 予算及び決算（令和 2 年度）

検査手数料（証紙収納額）

（単位 円）

種 別	内 訳	予 算 額	証紙収納額
景観・環境総合センター手数料	大気試験	143,000	0
	水質試験	3,023,000	2,971,510
合 計		3,166,000	2,971,510

歳 出

（単位 円）

款・項・目	予 算 額	支 出 額	残 額
(款) 医療政策費	263,200	213,071	50,129
(項) 保健予防費	263,200	213,071	50,129
(目) 保健研究センター費	263,200	213,071	50,129
(款) くらし創造費	22,338,740	20,822,798	1,515,942
(項) 環境管理費	22,338,740	20,822,798	1,515,942
(目) 環境保全対策費	18,763,740	17,256,101	1,507,639
(目) 廃棄物対策費	3,575,000	3,566,697	8,303
合 計	22,601,940	21,035,869	1,566,071

* 景観・環境総合センター大気係および水質係執行分のみ計上（人件費を含まず）

6. 企画情報関連

(1)職員の出席した学会，研究会，講習会，研修会等

i) 大気係

年・月・日	内 容	開 催 地
R 2. 6. 9	II型共同研究「光化学オキシダント及びPM _{2.5} 汚染の地域的・気象的要因の解明」PM高濃度気象解析グループ会合	Web開催
7. 2	Agilent ICP-MS メンテナンス講習	桜井市
7.27～28	GL Sciences オンライン講座「クロマト基礎セミナー」	Web開催
8.31～9.4	環境放射能分析研修「ゲルマニウム半導体検出器による測定法」	千葉市
9.11	令和2年度第1回近畿大気汚染常時監視連絡会	豊中市
9.11	全国環境研協議会 東海・近畿・北陸支部総会	書面開催
9.14～10.4	第61回大気環境学会年会	誌上開催
9.29	II型共同研究「災害時等の緊急調査を想定したGC/MSによる化学物質の網羅的簡易迅速測定法の開発」2020年度第1回全体ミーティング	Web開催
10. 9	全国環境研協議会企画部会騒音振動担当者会議	横浜市
10.13	令和2年度低周波音測定評価方法講習会	大阪市
11.17	Milestone General マイクロ波分解処理装置セミナー	Web開催
12. 3～4	2020年室内環境学会学術大会	郡山市
12.18	令和2年度環境測定分析統一精度管理東海・近畿・北陸支部ブロック会議	Web開催
R 3. 1.14～15	令和2年度化学物質環境実態調査環境科学セミナー	Web開催
1.29	令和2年度第2回近畿大気汚染常時監視連絡会	書面開催
2. 1	地方公共団体環境試験研究機関等所長会議	Web開催
2. 1	第49回全国環境研協議会総会	Web開催
2. 5	第35回全国環境研協議会 東海・近畿・北陸支部研究会	紙上開催
2.17	第36回全国環境研究所交流シンポジウム	Web開催
3.16	II型共同研究「光化学オキシダント及びPM _{2.5} 汚染の地域的・気象的要因の解明」OxPMグループ会合	Web開催
3.18	大気環境学会 環境大気モニタリング分科会 第48回研究会	Web開催
3.19	環境研究総合推進費 一般公開セミナー「化学物質管理におけるPRTRデータの実践的活用に向けて」	Web開催
3.24	II型共同研究「災害時等の緊急調査を想定したGC/MSによる化学物質の網羅的簡易迅速測定法の開発」2020年度第2回全体ミーティング	Web開催

ii) 水質係

年・月・日	内 容	開 催 地
R 2. 8.20	II型共同研究「生物応答を用いた各種水環境調査方法の比較検討」第1回ワークショップ	Web開催
9.11	第44回瀬戸内海水環境研会議総会	書面開催

9. 9～10	第 23 回日本水環境学会シンポジウム	Web 開催
10.19～20	令和 2 年度「化学物質環境実態調査分析法開発等検討会議系統別部会（第一部会）（第 1 回）」	
11.19	第 47 回環境保全・公害防止研究発表会	書面開催
11.24	Waters webinar「ACQUITY PREMIER カラム～これまでの問題を解決する新カラム誕生！～」	Web 開催
12. 3	Restek webinar「ガスクロマトグラフィーのライナー選択と注入方法」	Web 開催
12. 7～8	令和 2 年度「化学物質環境実態調査分析法開発等検討会議系統別部会（第一部会）（第 2 回）」	Web 開催
12.10	Waters webinar「ここから始める LC 講座～中級編 HILIC モードを使いこなすために～」	Web 開催
12.18	令和 2 年度環境測定分析統一精度管理東海・近畿・北陸支部ブロック会議	Web 開催
R 3. 1.14～15	化学物質環境実態調査環境科学セミナー	Web 開催
1.18	令和 2 年度奈良県環境審議会水質部会（第 1 回）	Web 開催
2. 5	Ⅱ型共同研究推進会議「LC-MS/MS による分析を通じた生活由来物質のリスク解明に関する研究」	Web 開催
2. 5	Ⅱ型共同研究「生物応答を用いた各種水環境調査方法の比較検討」第 2 回ワークショップ	Web 開催
2. 5	第 35 回全国環境研協議会 東海・近畿・北陸支部研究会	紙上開催
2.15～16	令和 2 年度「化学物質環境実態調査分析法開発等検討会議系統別部会（第一部会）（第 3 回）」	Web 開催
3. 3	海洋プラスチックごみ学術シンポジウム	Web 開催
3.10～12	第 55 回日本水環学会年会	Web 開催
3.23	Ⅱ型共同研究個別ヒアリング「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」	Web 開催

(2)当センター職員を講師とする講演会、技術・研修指導

年・月・日	内 容	対 象 者	担 当
R 2.10.13～16	令和 2 年度奈良県立医科大学公衆衛生学実習	奈良県立医科大学 医学部 4 年生 3 名	大気係

(3)国立環境研究所・地方環境研究所との共同研究

地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との第Ⅱ型共同研究

「生物応答を用いた各種水環境調査方法の比較検討」水質係 平井佐紀子 長尾舞

「LC-MS/MS による分析を通じた生活由来物質のリスク解明に関する研究」水質係 浦西洋輔

「光化学オキシダント及び PM_{2.5} 汚染の地域的・気象的要因の解明」

大気係 杉本恭利 山本真緒 吉田実希

「災害時等の緊急調査を想定した GC/MS による化学物質の網羅的簡易迅速測定法の開発」

大気係 杉本恭利 北岡洋平

(4)景観・環境総合センター研究発表会 ※詳細は本誌第3章第5節(2)参照

i) 令和2年6月26日

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

ii) 令和3年2月26日

「天理局における大気汚染物質濃度の急上昇事例について」

大気係 吉田実希

「3種の検査法を用いた奈良県大和川の大腸菌(群)数」

水質係 浦西克維

(5)外部評価制度

i) 外部評価制度の導入

調査研究業務に客観的かつ公正な評価を加え、調査研究の充実とその成果の普及を図ることを目的に、平成19年度から保健環境研究センターとして外部評価制度を導入している。

平成25年度からは、保健環境研究センター大気環境担当・水環境担当が、景観・環境総合センター大気係・水質係へと組織変更され、保健環境研究センターは保健研究センターと名称変更されたが、外部評価制度は両者合同で行っている。

外部評価委員

(令和2年4月1日現在)

	氏名	所属
委員長	多賀 淳	近畿大学
委員	矢野 寿一	奈良県立医科大学
委員	須崎 康恵	奈良県立医科大学
委員	瀬戸 繭美	奈良女子大学
委員	山田 誠	龍谷大学

ii) 令和2年度評価対象となった調査研究(当センター分のみ抜粋)

担当	主任研究者	課題名	共同研究者
大気係	山本 真緒	大気中PM _{2.5} の地域内汚染事例に関する発生源解析の検討	杉本 恭利 北岡 洋平 吉田 実希
水質係	浦西 克維	大腸菌に関する環境基準変更を見据えた有用な検査法の探索	辻本 真弓 浦西 洋輔

iii) 外部委員による総合評価

令和2年度の調査研究について、全体を通じ次のように評価された。

- ・コロナ禍ではあったが、各研究課題は一定の結論が出ており、かなり評価できる結果だった。
- ・県民の皆さんの健康を願ってクオリティの高い仕事をしている。
- ・データや結果、今後いろいろなところで役立つような有益な結果が出ていた。
- ・今後につながる問題点などの提案もあり発展性も期待できる研究だった。

iv) 外部委員による個別評価

外部委員による評価は、①目的・目標の達成度、②県民・社会的ニーズへの波及効果、③行政施策への貢献度、活用性、④成果の学術的意義、⑤今後の発展性の観点から行われる。

それぞれについて、5段階評価で行い各委員の平均で表した。

